

わらびてとう 蕨手刀とは？



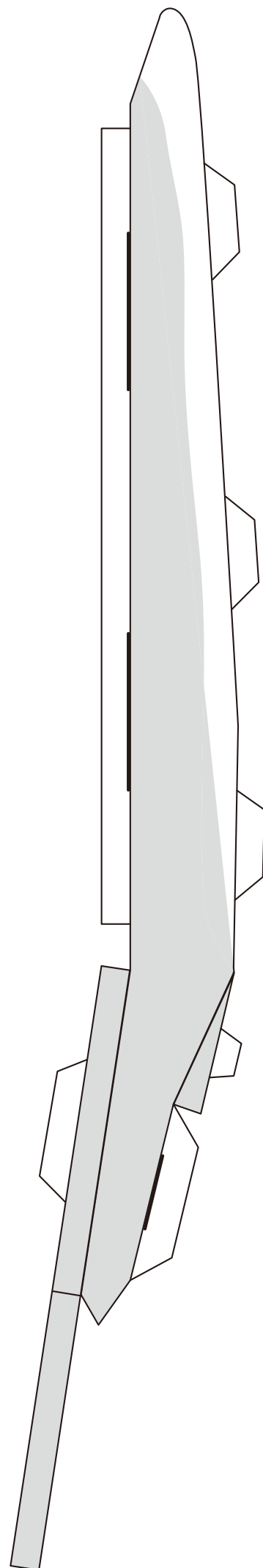
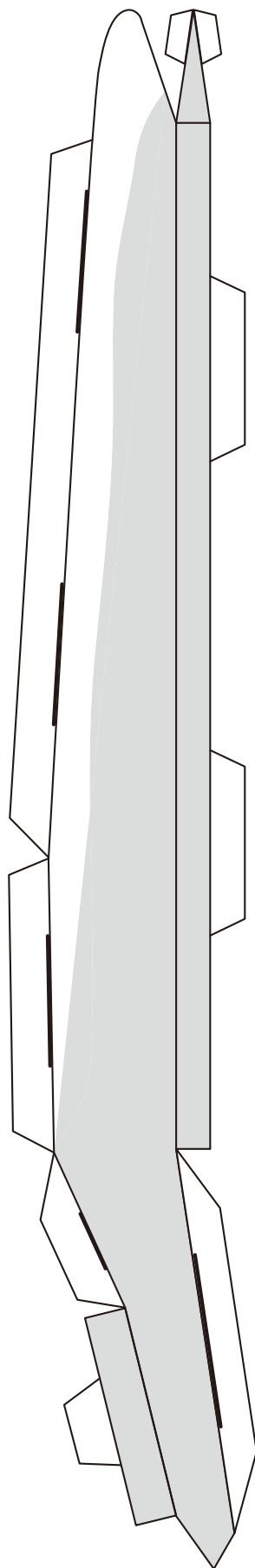
きたああく ほ いせき やふきまち しゅつど わらびてとう
北大久保E遺跡（矢吹町）出土 蕨手刀

へいあんじだい とうほくちほう おあ しょう かたな
平安時代の東北地方で多く使用された刀です。

も て せんたん わらび ま とくちよう
持ち手の先端が蕨のように巻いているのが特徴です。

あな じだい はまだあ ち ほう おあ せいてつせい き み
同じ時代、浜通り地方では多くの製鉄遺跡が見つかった

ているので、そこで作られた鉄を素材にして作られた
のかもしれない。



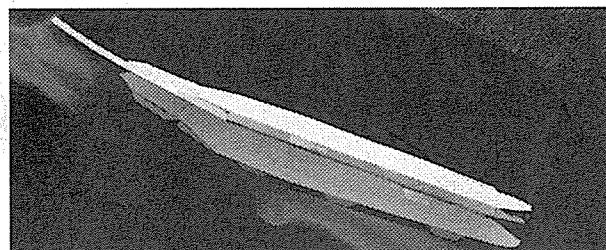
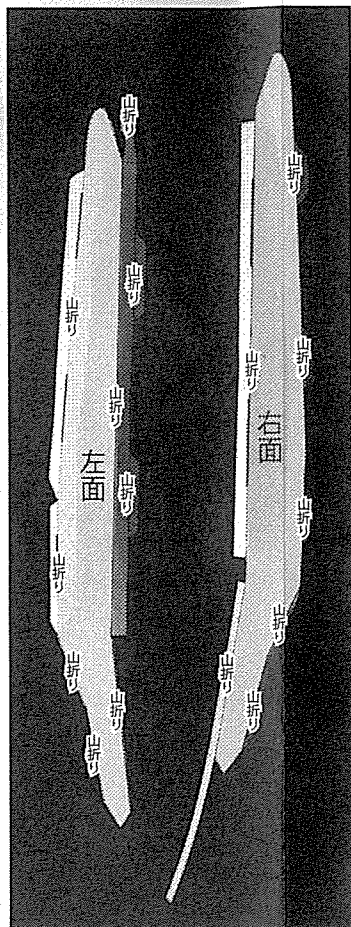
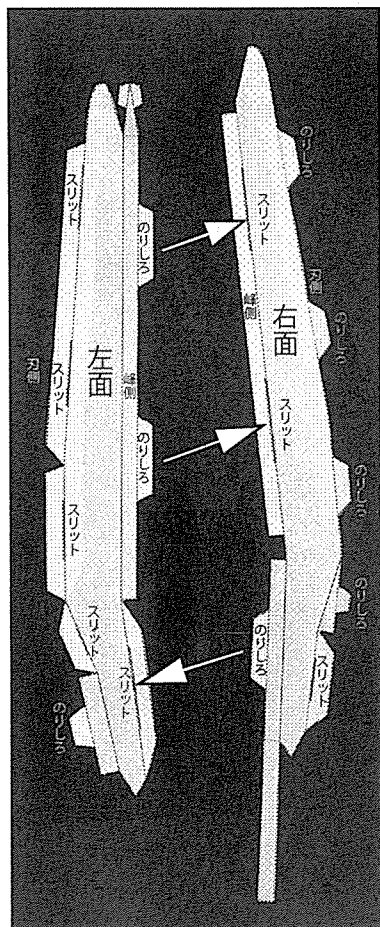
わらびてとう 蕨手刀ペーパークラフト

おもに、奈良・平安時代に使われた刀です。刀身と柄が一体の鉄素材で

つくられており、柄尻がワラビのように巻いているのが、特徴です。東北地方で多く発見

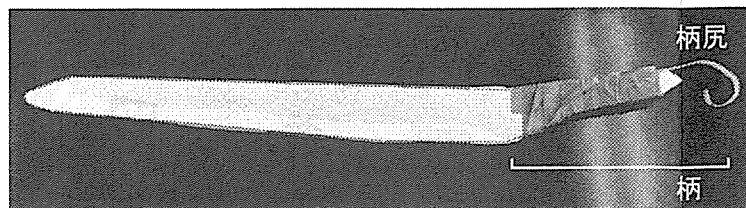
されています。

北大久保E遺跡（矢吹町）出土蕨手刀



①左右両面を写真のように切りぬいたら、峰側からのりしろをスリットに差し込んでいきます。

②差し込む前に線の引いてある部分を山折りにしてできます。



⑥柄尻に長くのびた紙を写真のように丸めたら完成です。柄の部分にマスキングテープなどを巻くとかっこよくなるよ！



⑤続けて刃側も、③のように組み合わせ、テープでとめます。